



# る う て る

2012年  
**8**月  
No.776

■発行所■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
電話 03-3260-8631

■振替口座■ 00190-7-1734  
■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>  
■E-mail■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)  
■発行人■ 松野昌博 [m-tokuno@jelc.or.jp](mailto:m-tokuno@jelc.or.jp)  
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社  
■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)

## 説教 「恵みに溢れて」

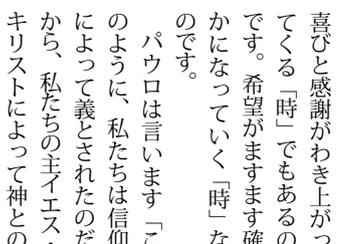
「生涯、彼を満ち足らせ、私の救いを彼に見せよう」詩編91編16節



あいだに平和を得ており、このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光に与る希望を誇りにしています。(希望は私たちが欺くことがあります。ローマ5・1-5。つまり、歳をとっていく

この度、P2委員会からL.A.O.S講座別冊『人生6合目からの歩み』が出版されました。私たち日本人は、平均寿命の飛躍的な伸びによって、人類が今まで経験したことのない領域を生きています。これは恵みであると同時に、大きな課題でもあります。歳をとっていくことは、多くのものを失っていくことかも知れませんが、例えば健康、役割、関係、伴侶、そして、何よりも時間。老いていくことは喪失していくことでもあるのです。

しかし、ますます増えていくものがあります。それは「恵み」です。確かに多くのものを失い



すが、しかし、恵みはますます「私」に溢れていくのです。とすれば、歳をとることはまた「希望」でもあるのです。

よく、老齢期を厳しい冬の季節として表現することがあります。青春から始まって人生を朱夏白秋、玄冬などと表現します。しかし、私たちの人生を季節で表現するだけでは十分ではありません。なぜなら、人生は「旅」だからです。そして人生を旅として受けとめるとき、老齢期は希望の時期でもあるのです。神に支えられ、導かれて生きてきた長い人生の旅路、喜びばかりではなかった人生の航路、しかし、その

旅がいよいよ終わりを迎えるとき、それは神さまの祝福の時でもあるのです。永遠の「命の冠」を神さまから受ける「勝利の時」なのです。老齢期の時にそれは一番厳しい時であるかもしれません。若い頃のように自由に動き回ることだんだん出来なくなってくる。

しかし、長く航海を続けてきた船だつて、港に近づくとき速度を落とすものです。そう、私たちの人生の港、それは天の御国です。天の御国こそ私たちの永遠の港なのです。つまり、老齢期は希望そのものなのです。そして、これまで人生の旅路を導き、支え続けてくださった神の恵みと思い、喜びと感謝がわき上がってくる「時」でもあるのです。希望がますます確かなになっていく「時」なのです。

パウロは言います「このように、私たちは信仰によって義とされたのだから、私たちの主イエス・キリストによって神との

ら、キリストの力が私の内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇ろう。(なぜなら私は弱いときに強いからです。コリ12・9以下。

そう、キリストの力は、弱さの中でこそ十分に発揮されます。われわれの弱さ

「洗礼に於いて考えられるべき第一のことは、神の約束である。」と語っています。

そう、私たちの希望は、洗礼を根拠とした希望なのです。私たちの希望は、単なる希望的観測ではなく、洗礼を根拠とした確かな希望なのです。そして、その洗礼の希望は、礼拝に於いて御言葉(説教)と聖餐によって絶えず新しく経験される、私たちはますます命と恵みに溢れて日々を生きていくのです。「だから、私たちは臆胆しません。たとえ私たちは「外なる人」は衰えていくとしても、私たちの「内なる人」は日々新しくされていきます。」(コリ4・16とパウロが語るように...

パウロは言います「だから

### 留学生公募

日本福音ルーテル教会は、左記条件で留学生を公募します。

- 対象者 日本福音ルーテル教会教職者
- 留学の区分 「二号留学」
- 留学要件
  - 1 将来神学教育に携わる用意として、博士課程を修了すること。
  - 2 歴史神学、特にルター神学を研究すること。

応募締切りは9月30日。  
問い合わせおよび申し込みは、[事務局](mailto:事務局)へ。

### 宗教改革五〇〇周年に向けて

ルター研究 所長 鈴木 浩

改めて考える (4)

ルターは、生来の真面目な著作を読むことが多かった。修道士たちも、読むのは詩編と雅歌が中心で、福音書は二の次であった。ルターは、生来の真面目さから、自分の課題に誠実に取り組み、聖書の本文そのものに集中的関心を持った。教父たちの解説も確かに役立つし、素晴らしいものもあった。しかし、本文そのものが、「神の言葉」であった。ルターは研ぎ澄まされた目で、聖書本文を丁寧に追っていった。ここで問題が起きる。どうしても引かかる箇所にならなければならないのだ。この「引かかる箇所」こそ、重要であった。そうした箇所、ルターは繰り返し思いをめぐらせた。そこから驚くべき発見が起こった。

修道会の指示で、ルターは聖書学教授になった。そのことがルターに決定的影響を与えた。聖書を教える以上、当然、聖書の専門家にならなければならないからである。聖書に集中的関心を持つルターの姿勢が、それで決まった。

当時は、礼拝は「聖体拝領」が中心で、説教は相当軽んじられていた。そもそも聖書は「閉じられた書」で、神学を学べる者も教父たち(特にアウグスティヌス)

### 岩波新書

聖書を読み抜いた男

マルティン・ルター

徳善義和著

ことばに生きた改革者

定価(本体七〇〇円+税)購入特典のお知らせは4面です

信徒の声

最近思うこと

北海道特別教区 信徒常議員 須藤 清

昨年、函館教会は念願の記念誌を出版しました。増田憲一郎兄や故泉徹兄が準備されていた資料や、伝道所時代の資料、現存する週報、教会広報紙、写真等を改めて目にする機会を得、教会の足跡をたどることが出来ました。そして、他教区からの人的・資金的支援によって暖かく支えられていたことも知りました。多くの牧師と諸先輩が、時が悪くても教会を支えて来られ、それが、今に繋がっていることを実感しました。今繋がる者として、素直に開拓時代から続く神様の大いなる

計画と恵みを感じています。最近若い人達も増え、私どもは若さにおされ気味の感ですが、素直に神様に感謝しています。今年5月の全国総会で提起された、北海道特別教区の宣教態勢の将来展望は、当該教区の私達に待った無し状況でその方策を迫っています。今年の1月末に、日本の将来の人口動向について報道がありました。2060年の日本の人口は国立研推計で3割減の8674万人としています。ある推計によると、北海道の人口は、2035年

で2005年の人口の約24%減の424万人と推計されています。札幌市5%減の178万人、他市町村は概ね大きく減と予測されています。そして、函館市の人口は2035年で40%減の約17万人と推計されています。今後の伝道を考える時、将来人口の推移や高齢化社会を見据え、函館教会としての展望、教区と連携した宣教体制の再構築が必要になると思

います。後に続く者私達団塊の世代は、先人たちの努力によって建てられた会堂が、あつて



そして、動きやすくしなければと願うこの頃で、個々の信徒に笑顔が溢れる群れにこそ、大きな未来があると確信します。

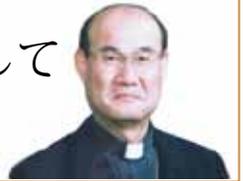
「となりびと」にも地元ボランティア団体からの支援力の申し出をいただければと願うこの頃で、個々の信徒に笑顔が溢れる群れにこそ、大きな未来があると確信します。

「食材王国宮城より」 私は今年4月より「となりびと」スタッフとして活動をしております。宮城県塩釜市に住んでおり、郷土愛と、支援に「恩返し」をする気持ちで参加いたしました。宮城県は、豊富な食材を産出している「食材王国宮城」と呼ばれています。沿岸部では、カツオ、サンマ、マグロ、ワカメ、カキ、ふかひれ、ホヤなどの特産品があります。仮設住宅の皆様は、このような故郷を誇りに思いながら力強く暮らして、励まされるのが沢山あります。集会所では「お茶つこ会」という、ボランティアや外国の方も参加される交流活動をしていきます。交流では「絆」を大切にしています。お年寄りから子どもまで、力をあわせて震災を生きのび、多くの方々の支援によって生きる力をいただいていることに感謝します。仮設住宅の皆様が、やがて石巻市の木である黒松のように、大地にしっかりと根をおろし、太陽に向かって伸びていくことを願っています。

牧師の声

L C Mに参加して

挙母教会 鈴木英夫



5月末、「ルーテル海外教会協力会議(LCM)」に参加した。多国的・多文化的視点から「日本の宣教」を考える機会が与えられ感謝している。貴重な発題や意見が出されたが、その中で次のことが特に、印象として残った。！教会教勢の低下傾向はフィンランドや米国でも同様であり、その原因が世界的・共通的な事柄に起因しているようだ。

「我々伝来の欧来的キリスト教が有する「伝統」と日本の宗教土壌における「実情」をどう融合させるべくかが、宣教(土着化)の重要課題である。#複雑多様化した現代を生きる教会員の「信仰生活」、「教会生活」、「社会生活」の内実をさらに捉え直し、十分な理解をもって牧会がなされる必要がある。教職と各教会への提言として重要だ。

例えば、今回、国内のルーテル教会諸派は救済活動の組織時に、「ルーテル教会」の名を前面に掲げないことを申し合せた。現場で尋ねられたら、「ルーテル教会」と答え

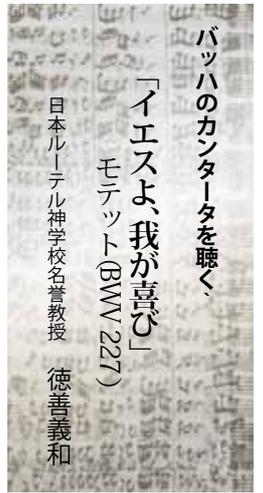
ることにしたという。これに対して、フィンランドから驚きの声が上がった。「なぜ、キリスト教会の働きを実践するのに教会の名を掲げないのか」と。さらに、被災した他宗

今回の会議に参加した教会・団体
JELC (日本福音ルーテル教会)
ELCA (アメリカ福音ルーテル教会)
SLEY (フィンランド・ルーテル福音協会)

今月号よりお届けするレポート、初回の今月は、私と三浦スタッフから現地報告をいたします。現在、仙台教会に拠点

「食材王国宮城より」 私は今年4月より「となりびと」スタッフとして活動をしております。宮城県塩釜市に住んでおり、郷土愛と、支援に「恩返し」をする気持ちで参加いたしました。宮城県は、豊富な食材を産出している「食材王国宮城」と呼ばれています。沿岸部では、カツオ、サンマ、マグロ、ワカメ、カキ、ふかひれ、ホヤなどの特産品があります。仮設住宅の皆様は、このような故郷を誇りに思いながら力強く暮らして、励まされるのが沢山あります。集会所では「お茶つこ会」という、ボランティアや外国の方も参加される交流活動をしていきます。交流では「絆」を大切にしています。お年寄りから子どもまで、力をあわせて震災を生きのび、多くの方々の支援によって生きる力をいただいていることに感謝します。仮設住宅の皆様が、やがて石巻市の木である黒松のように、大地にしっかりと根をおろし、太陽に向かって伸びていくことを願っています。

JLER (ルーテル教会救済) 対策本部
現地からのレポート
JLER派遣牧師 野口勝彦



「イエスよ、我が喜び」  
モテット (BWV 227)

日本ルーテル神学校名誉教授 徳善義和

バッハは聖書をよく読  
み、ルターを読んだと思  
われる。バッハの死後に  
作成された財産目録には  
蔵書目録もあり、神学書  
は五二点(八〇冊)を遺し  
たことが分かる。その内  
ただ一点(三冊)だけがセ  
ントルイスのコンコー  
ディア神学校に現存して  
いる。ルター訳の旧新約  
聖書にカロフが注釈を施  
したもので、バッハは欄  
外書き込みをしたり、下  
線を引いたり、熱心に  
これを読んだことがうか  
がわれる。書き込みは筆  
跡鑑定によって、下線は  
インクの炭素同位元素に  
よる年代推定をもって  
バッハ自身によるものと  
ほぼ確認されている。礼  
拝やその音楽への関心も  
強く、「神の栄光のために  
歌われたのだ」という書  
き込みも残っている。  
カットはその扉の写真だ  
が、右に「S. Bach 1733」  
とバッハ自身の署名があ  
る。これが一九三四年に  
アメリカ・ウィスコンシ  
ンのドイツ系移民の農家  
の納屋から見つかったと

いうから不思議である。  
バッハの教会音楽は全  
るところで聖書に通じた  
姿を浮かび上がらせる。  
このモテットもそうだ。  
一七二三年夏、ライプ  
ツィヒ郵便局長夫人の葬  
儀のために作曲、演奏さ  
れたものとの推定もあ  
る。葬儀でローマ八章が  
読まれ、説教されたとい  
う記録が残っているから  
だが、バッハはこの八章  
から一、二、九、一〇、一  
一節を選んで、これを「フ  
ランク作詞(一六五三年)  
で、J.クリューガー作曲  
の六節からなるコラール  
(教会讃美歌三三三参照  
六節の原詩を五節に縮め  
てある)の一節毎に交互  
に配するという構成を  
取った。コラールの各節と  
ローマ書からの各節と  
が相互にうまく噛み合っ  
て、まさしく全体として  
音楽による説教の姿を示  
している  
とさえよ  
う。

このモ  
テットな  
どはま  
先に、バッハの教会音楽が  
先ずはそこに配された聖  
句とコラール歌詞の釈義  
とも言うべき味わいから  
始まって、曲の味わいへ  
と導かれていく典型的な  
作品のひとつであること  
を示してはいないだろう  
か。もちろん音楽も優れ  
ていて、私自身生涯に一  
度は一緒に歌ってみたい  
と思っていた曲だが、こ  
れは果たせないようだ。  
しかしその音楽的表現も  
またことばをしっかりと  
解釈して、説教黙想  
の典型のような趣すら  
もっているのである。  
教会讃美歌の訳は若い  
日の私のものだが、後に  
バッハのこのモテットと  
出会って、一層思い入れ  
を深めている。私の葬儀  
の際にはこの讃美歌を愛  
唱讃美歌として、このモ  
テットを献花の際の音楽  
としていただこう、既  
に市ヶ谷教会の月報にも  
載せて、お願いしている  
ところである。



カロフ聖書の中表紙とバッハの署名アップ

福音と美術

小鹿教会 寺澤節雄  
静岡大学名誉教授 (美術教育)

永遠性の象徴  
図1は、セザンヌの最  
高傑作「りんごのオレン  
ジ」(一九〇五)です。今日  
セザンヌの絵画は多視点  
絵画と呼ばれます。それ  
はセザンヌが、従来の遠  
近法的表現の一点点を  
破っているからです。そ  
の結果、画面空間は不連  
続・不均質に扱われ、そ  
の動的な表現はキュビス  
ム絵画に引き継がれまし  
た。一般的に人々は印象派  
のモネのように、見えるも  
のを見るままに美しく  
描かれた絵画を好みます。  
その場合、対象はカメラが  
レンズの先に一焦点を結



図1 セザンヌ 林檎とオレンジ (部分)

ぶように焦点的に捉えら  
れています。このような焦  
点の拘束を離れるという  
ことは何を意味するので  
しょうか。二十世紀初頭  
芸術家は一焦点的にのみ  
捉えられる空間の拘束を  
振りほどこうとし、セザン  
ヌはその筆頭となったと  
も言えます。それは科  
学の発展と相まって、人々  
が余剰次元に目を開くよ  
うになったからだと言え  
ます。問題は余剰次元に解  
き放たれた先意識はそ  
の根拠をどこに求めるの  
かということ。不連  
続・不均質となった空間  
は、その統合の根拠を無  
限・連続、さらには永遠性  
の象徴に求めるとのいう  
のが私の考えです。  
図2は静岡県立美術館  
所蔵のパウル・クレールの  
絵画で、「エンタランスR  
」と題されている作品で  
す。この絵の面白さは、遠  
近法的な構成と逆遠近法  
的な構成とが  
共存している  
ことです。そ  
のため、われ  
われの視覚は  
焦点を失い、  
目眩ましの  
何か未知の  
ものを見るよ  
うに見えるの  
です。それは



図2 パウル・クレール (1920)

はもちろん、それに加えて  
親御さんへのメッセージ  
があるということ。幼  
稚園・保育園を中心に教会  
でも継続して用いられて  
います。あなたもお子さん  
に、お孫さんにプレゼント  
してみませんか。  
■こひつじハンコ、シール  
幼児部門では、こひつじ  
の型にご希望の名前を入  
れたハンコを制作販売し  
ています。また、こひつじ  
シールも好評販売中です。  
手紙の封じ、カードの飾り  
に、その他いろいろな場面  
にご活用ください。  
■そのほしいくつもある  
またまた幼児部門から。  
「そのほしいくつもある」  
は、幼児向けの教理学習教  
材です。ご家庭で、教会で、  
簡単な問答を通して、お子  
さんと一緒にキリスト教  
の「きょうり」に触れるこ  
とができます。1冊500  
円。  
■CSテキスト、カード  
子ども部門では、教会参  
校(CS)で使用する説教  
例や分級展開例などが掲  
載されている「CSテキス  
ト」を販売しています。(1  
部年間500円)ルーテル  
の日課に合わせた教材は  
少なく、責任の重さを感じ  
つつ、全国の教職・信徒が  
ボランティアで担当して  
います。カードも日課に  
合っており、CSだけでは  
なく、礼拝を休まれた方へ  
のお見舞いにも最適です。  
その日の日課にあった  
カードにひと言添えての  
プレゼントはいかがです  
か。  
■メールマガジン  
グッズではありません  
が、ティーンズ部門では  
毎週水曜日にメールマガ  
ジンを登録者に配信して  
います。2500字のメッ  
セージと聖句は、「あなた  
に向けて書かれています。  
教会や学校でも登録して  
メールマガジンのメッ  
セージをきっかけにして  
話し合うこともできます  
ね。T.N.G.は、各地で次世  
代への働きかけにご苦労  
されている「あなた」と共  
に歩みます。ぜひ、皆さん  
のご意見、ご要望をお寄せ  
ください。宣教室まで。

われわれに見慣れた三次  
元的知覚以外の余剰次元  
です。そのようにしてわ  
れわれは、日常的知覚を  
相対化することを強いら  
れます。それは先に述べ  
たキエルケゴールの言う  
「精神」への誘い。それ  
は私たちが、古き拘束  
を破る新しき創造の世界  
に生きるためです。  
図3は、私の授業にお  
ける造形演習の成果で  
す。造形課題は、「ク  
レー・コンポジション  
」です。すなわち、  
クレールの造形空間を  
抽象的な構成として  
表現させました。こ  
の課題では、まず学  
生に画面の自由な分  
割を求め、さらにそ  
れを自由な色面を用  
いて統合するように  
求めます。そこでの体験  
は、決まった規則の無い  
対象に対する手探りで  
す。迷宮の内にも、隠れた  
規則は潜んでいます。不  
連続的な律動的運動がそ  
れを可能にするのです。  
このようにして造形活動  
の基本から学ぶべきもの  
は、内なる潜在的秩序の  
確かさを知ることであ  
り、それは創造の喜びに  
触れる体験となるので  
す。(続く)



図3 不連続的な色面構成

### 2012年度 日本福音ルーテル教会教師試験実施のお知らせ

2012年度の日本福音ルーテル教会の教師試験を左記要領にて実施いたします。教師試験を受けようとする志願者は左記書類を整え、教会事務局にご提出ください。事務局へ提出してください。よう、よろしくお願いたします。

- 記
- 提出書類
    - 1 教師志願書
    - 2 志願理由書
  - テーマ「なぜ『日本福音ルーテル教会の

教師」を志願するの  
か  
一あなたが考える宣教課題をふまえて  
・書式 A4横書き  
フォントサイズ11ポイント  
（注意事項！簡潔な文章で記すこと。召命感を明確に記すこと）

- 3 履歴書（学歴、職歴、信仰歴、家庭状況等を記入すること）
- 4 教籍謄本（所属教会教籍簿の写し）
- 5 成年被後見人または被保佐人として登記されていないことの証明書（法務局交付）

のもの。任用試験時に必要になります）  
6 所属教会牧師の推薦書  
7 中学校卒業（見込）証明書及び推薦書  
8 健康診断書（事務局に所定の用紙があります）

提出期限（期限厳守）  
2012年9月14日（金）午後5時までに教会事務局へ提出すること  
提出先  
日本福音ルーテル教会 常務委員会 立山忠浩宛  
試験日及び試験内容、試験日及び試験内容直接本人に連絡します。

### 2013年 教会音楽祭のテーマ曲 歌詞を募集

2013年6月8日（土）に教派を超えての賛美集会「教会音楽祭」が、ウエスレアン・ホーリネス教団淀橋教会で開催されます。  
第31回のテーマは「ともに希望の歌を」東日本大震災後、私たちは何を歌うのでしょうか？ 賛美のことばを紡いでいきたいと願っています。現在、このテーマに即した歌詞を募集しています。（曲については採用された歌詞を発表してか

ら募集を開始します。）  
■応募条件 1人1作品とし、未発表のものに限ります。教会音楽祭実行委員会にて審査し、採用者には直接通知します。応募作品が採用候補作品とされた場合でも、作者と相談の上、実行委員会で添削する場合があります。採用作品は広く教派を超えて自由に用いられるものであることを理解のうえで応募ください。なお応募作品は返却しません。

募集開始します。）  
区芝公園3-6-18 日本聖公会 東京教区事務所内礼拝音楽委員会（教会音楽祭歌詞応募）と明記してください。）  
■応募締切 2012年9月30日（消印有効）  
■発表 採用作品の作者に直接通知します。一般には「曲募集」をもって発表に替えさせていただきます。  
●問い合わせ先 各教派の教会音楽祭担当委員、または「教会音楽祭」ホームページ <http://mlm31.reserve.jp/>

### 第25回総会期 第1回常務委員会 報告

第25回総会期の第1回常務委員会が、六月十一日から十三日にかけて、市ヶ谷センターにて開催されました。今回は、五月の全国総会にて選出された第25回総会期常議員による初めての常務委員会でもありました。

新たに総会議長に選

出された立山忠浩議長は「先の全国総会を受けて、第六次総合方策をどう実現するかについて、総合的・総花的な方策の中から、重点的課題の抽出をし、取り組みを具現化していくこと、議場から出された諸意見の中から取り入れるべき声を拾い上げていく」と基本的な姿勢を述べられました。

さらに、現時点で優先的・緊急的課題と思われる事柄として、三つに絞り込んで言及されました。（1）財政問題の根源に

関する認識の共有化と 確実な対応、  
（2）東日本大震災ルーテル救援活動を、日本福音ルーテル教会の宣教理解の中で、「この世に奉仕する教会（ディアコニア）の働きとして、どこまで位置付けるのか、有限な人材や財政力を考慮に入れつつ、検討し てゆく。

（3）宗教改革500年となる2017年にむかつて、記念事業、特に各教会が参画できるような企画を含む準備計画を進める、

と課題内容を説明した上で、推進していくために全常議員に積極的な協議を求めました。  
なお第一日目の夜には、渡邊前総会議長と立野前事務局長の感謝会を開催し、常議員相互の親睦も行われました。

二日目の主な協議事項については以下の通りです。  
▼諸活動、委員会報告、審議事項  
2012年2月以降の三役、各教区、本教会各室及び諸委員会、関係諸団体、JLER（救援

支援本部）等の活動について各々報告がなされ、協議の後に、承認されました。  
続いて審議事項では、学校に対する教会推薦理事の決定、人事（事務局長関係）、教会規則変更申請、教会建物の改築に関する申請、幼稚園組織変更に関する申請等の案件が協議されました。

▼諸委員任命と委員会の組織  
総会選出の常置委員に加えて、常議員会選出の常設委員及びその他諸委員選任をし、実質的な

宣教師課題推進の担い手として各委員会が組織されました。  
三日目は、立山議長の表明された「第25回総会期の基本方針と重点課題」に絞って、しばし今期常議員全体で意見交換をし、現状認識と課題認識の共有に務めました。この協議は継続して十月に予定される「宣教会議」、十一月開催の「常議員会」でも積み重ねていくものとなりました。

詳細は、教会宛に送付される議事録をお読みください。

### 第25期 新四役



書記 (事務局長) 白川道生 議長 立山忠浩 副議長 青田 勇 会計 森下博司

LAOS講座別冊を増刷  
P2委員会より、高齢者伝道のために、去る5月5日に発行した、「人生6合目からの歩み」は、ルーテル教会だけでなく、他教派からの反響もよく、残りが少なくなりましたので、増刷することになりました。このテキストを教会での高齢者伝道の学びのために購入し、希望の場合は、本教会事務局にご注文（冊・300円）を。

徳善先生の 新刊書 購入に特典！  
本号1面でお知らせのとおり徳善義和先生の著書「マルティン・ルター」が、6月20日岩波書店より発行されました。  
つきましては、徳善先生から、教会での学習用にとめて購入する場合の特典情報についてご連絡をいただきましたので、お知らせいたします。

徳善先生を経由した注文となれば、「著者割引」が適用され、1定額の15%引き+送料無料で購入ができます。但し、20冊以上の注文が条件となります。  
ご希望の方は著者メール [yokuzen@luther.ac.jp](mailto:yokuzen@luther.ac.jp) まで、ご連絡下さい。  
電話番号変更のお知らせ  
岡崎教会  
電話：0564-64-3261  
FAX：0564-64-3262